

長沼地域義務教育学校整備に関する説明会 実施状況

実施日	場所	対象者	参加人数
令和7年 6月12日(木)	長沼農村環境改善センター	学校評議員 PTA役員	19名
令和7年 6月24日(火)	長沼保健センター	長沼地域行政区長	8名
令和7年 7月16日(水)	長沼農村環境改善センター	長沼地域住民	19名
令和7年11月 1日(土)	長沼小学校	長沼小学校保護者	約80名
	長沼東小学校	長沼東小学校保護者	約160名
令和7年12月 6日(土)	長沼こども園	長沼こども園保護者	約60名
令和7年12月13日(土)	長沼東こども園	長沼東こども園保護者	約80名

長沼地域義務教育学校整備事業について

1 現状について

長沼小学校、長沼東小学校は、大規模な修繕又は建て替えを要する時期を迎えており、令和4年度策定の「須賀川市過疎地域持続的発展計画」に基づき小中一貫校の整備を進めております。

2 これまでの経過

令和5年2月から5月にかけて長沼地域の小中学校、地域住民の方々等を対象とし、長沼中学校敷地への集約化について説明会を開催いたしました。

3 整備方針（案）

小中学校を集約化するにあたり、増築する案や中学校を改築する案について検討してきた結果、小学校と中学校の教育課程を一体化することで様々な利点が期待できる義務教育学校としての整備を行う方向で考えております。

義務教育学校となることの良さとしては、

- 一貫した教育課程（小学校から中学校までの教育課程が一貫して提供されるため、児童生徒はスムーズに学びを継続することができるため、学習内容の連携が強化され、教育の質が向上します。）
- 教育の連続性（小学校から中学校への移行時に見られるストレスや不安を軽減することができます。児童生徒は同じ環境で学び続けることができるため、友人関係や教師との信頼関係も維持しやすくなります。）
- 多様な学びの場（様々な教科や活動が提供されるため、児童生徒は自分の興味や関心に応じた学びを深めることができます。また、特別支援教育や多文化教育など、多様なニーズに対応したプログラムも充実します。）
- 地域との連携（地域社会とのつながりが強く、地域の資源を活用した教育活動が行われることが多い傾向にあり、地域の人々との交流を通じて、社会性やコミュニケーション能力を育むことができます。）
- 教員の専門性向上（小学校と中学校の教員が協力して指導を行うことができるため、教員同士の情報共有や専門性の向上が図られます。）
- 社会的なつながりの強化（異年齢の児童生徒同士の交流が促進されることにより、協力や助け合いの精神が育まれ、社会的なつながりが強化されます。）

など、本市稲田学園での状況等も踏まえてとらえているところであります。
 また、それにより、当初想定していた令和 13 年度から 2 年前倒しとなる令和 11 年度の早期開校が可能となります。

4 今後のスケジュール (案) について

施設	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	
小学校屋内運動場新築		基本・実施設計		工事 (建築・電気・機械)	供用 (中学校屋体)	開校準備 (備品移設等)	
中学校屋内運動場長寿命化		基本設計 (直営)	実施設計	⇒	工事 (建築・電気・機械)		開校
中学校校舎改修							
児童クラブ		設置検討	⇒			設置	

参考資料

【須賀川市公共施設等個別施設計画（令和3年3月策定） 抜粋】

第3章 各施設の再編方針と実施時期

2. 公共施設（建物）の再編方針と実施時期

5) 学校教育系施設

小学校及び中学校については、地域の拠点施設となることから継続して維持管理を行います。ただし、児童・生徒数の減少が見込まれる学校については、地域住民の理解を得たうえで近隣の小・中学校との集約化を検討します。また、地域によっては、近隣の児童福祉施設との複合化や、小・中学校を集約し、義務教育学校の設置を検討します。

施設名 (代表建築年)	延床面積 (㎡)	経過 年数	施設 性能		再編時期			
					短期 (~2026)	中期 (2027~ 2036)	長期(前期) 2037~ 2046	長期(後期) 2047~ 2056
長沼小 (1964)	3,612.97	57	C	再編方針		集約化		
				備考	建替え時期を目途に、近隣小・中学校との集約化を検討します。			
長沼東小 (1972)	3,241.81	49	C	再編方針		集約化		
				備考	建替え時期を目途に、近隣小・中学校との集約化を検討します。			
長沼中 (2013)	5,142.75	8	B	再編方針		集約化		
				備考	大規模改修時期を目途に、近隣小学校との集約化を検討します。			

	メリット	デメリット
学習面	<p>①児童生徒一人ひとりの取組状況や教育的ニーズを把握しやすく、「個に応じたきめ細かな指導（個別最適な学び）」ができる。</p> <p>②例えば理科の授業で実験を行う際に、実験器具等が一人ひとり全員に行き渡るなど、個別最適な学びの環境が確保できる。</p>	<p>①児童生徒が学級集団の中で多様な考えに触れ、互いに支え合い、聴き合い、学び合う「協働的な学び」が深まりにくい。</p> <p>②学習における得意・不得意が表れやすく、学力の差が固定化しやすくなる。</p>
生活面	<p>①児童生徒一人ひとりの考えなどが生かされ、活躍の場、実践力育成の場が増える。</p> <p>②所属する教職員が全児童生徒の名前や個性を共通理解し、様々な観点から児童生徒を観察し、指導にあたることができる。</p>	<p>①集団の中で児童生徒同士がふれ合い、切磋琢磨し、社会性が醸成される機会が少ない。</p> <p>②少人数の中では、長期間において人間関係や互いの評価（地域や家庭間に関わるものを含む）が固定化し、新たな自分自身の創出など競争心や向上心を高めるチャンスが少なくなってしまう。</p>
学校運営 財政面	<p>①学校・家庭・地域が一体となって地元の学校に対する協力体制や学校教育に対する理解が得られやすく、伝統行事等を含む「地域に根ざした教育」が推進しやすい。</p> <p>②全校体制や学年をまたいで柔軟な（小回りが利く）教育活動の工夫や実践がしやすく、異学年間の縦の交流が生まれやすい。</p> <p>③学級担任をはじめ教員が担当する児童生徒数が少なくなり、一人ひとりに深く、厚い支援ができる。</p> <p>④教職員間の意思疎通が図りやすい。</p>	<p>①例えば体育の時間にサッカーやソフトボールなどの試合形式の授業ができなくなる、運動会の種目が限られてくる、部活動で団体競技ができなくなるなど、教育課程上の様々な制約が頻出する。</p> <p>②旅行時のバス代や卒業アルバムの製作費等、人数割りの費用が上がる。</p> <p>③中学校では、9教科の教科担任がそろわなくなる。</p>
その他	<p>①施設・設備の利用について自由が利く。</p>	<p>①使用頻度が低下する校舎の共用部分（家庭科室や図工室など特別教室）等の設備管理や冷暖房等、学校運営に係る人的配置や費用面の効率化・合理化が求められる。</p> <p>②小規模校でも管理事務等の必要な事務処理件数は大規模校と同じである。</p>

【 統合するとよいと思われること 】

- 1 教育活動の広がりが生まれる
- 2 社会性の育成（社交性・コミュニケーション能力の育成）
- 3 長沼の地域全体とともに歩む学校が生まれる

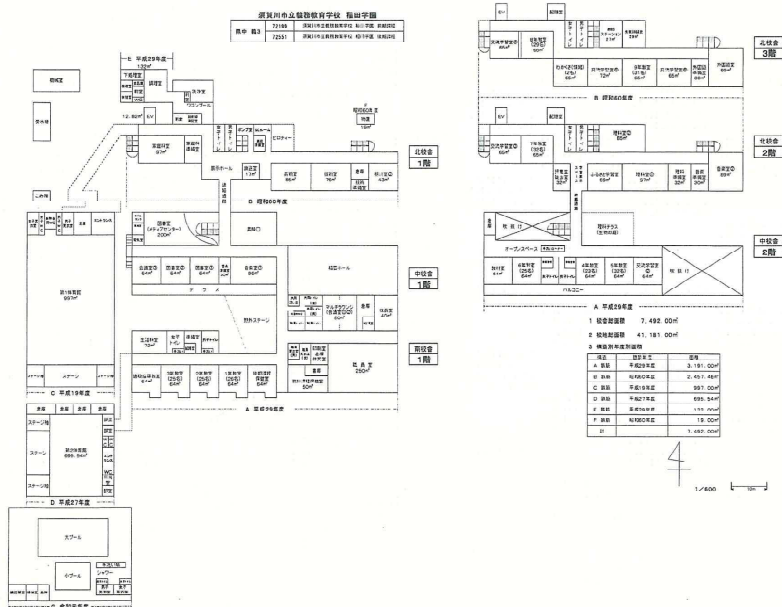
◆ 主な行事等

月	日	曜	行事名	月	日	曜	行事名	月	日	曜	行事名
4	7	月	第1学期始業式・入学式	8	19	火	サマースクール(～21)	1	8	木	第3学期始業式
14	月		交通安全教室	25	月		第2学期始業式	19	月		9学期末テスト
17	木		全国学力・学習状況調査	28	木		英語弁論大会	2	3	火	豆まき集会
18	金		授業参観・PTA総会・懇談会	30	土		PTA親子奉仕作業 松明茅刈り	5	木		新入学児童保護者説明会
21	月		1年生を迎える会					9	月		7・8学期末テスト
22	火		地域訪問(～25)	9	1	月	避難訓練	13	金		授業参観・懇談会・PTA専門部会
			9年修学旅行(～24)	4	木		支部駅伝競走大会	20	金		6年生ありがとうの会
30	水		避難訓練	12	金		7・8年学習旅行	27	金		卒業式予行
			PTA専門部会	18	木		児童生徒会立会演説会・投票	3	4	水	県立高校前期選抜(～6)(予定)
5	8	木	ふくしま学力調査	24	水		支部新人総合人会(～25)	11	水		震災から学ぶ会
10	土		PTA親子奉仕作業	27	土		竹切り・竹運び・茅運び	13	金		卒業証書授与式
12	月		児童生徒会総会	10	2	木	地区陸上大会	23	月		前期課程修了証書授与式 修了式
14	水		県中陸上大会(～15)	8	水		4・5年宿泊学習(～9)	27	金		離任式
17	土		運動会	17	金		秋華祭				
21	水		鼓笛パレード	21	火		避難訓練				
6	3	火	中体連支部総合大会(～4)				後期課程三者相談(～11/4)				
17	火		県中地区総合大会(～18)	25	土		松明製作				
20	金		引き渡し訓練	31	金		6年見学学習(修学旅行)				
23	月		7～9学期末テスト	11	4	火	芸術鑑賞教室				
25	水		8年職場体験(～26)	7	金		松明出発式				
26	木		7年工場見学 前期課程個別懇談(～7/4)	8	土		松明あかし				
				10	月		9年期末テスト				
7	7	月	七夕集会	17	月		7・8年期末テスト				
18	金		第1学期終業式	12	12	金	授業参観・懇談会 第6学年懇談会 第2学期終業式				



稲田学園マスコットキャラクター「いなっ子」

◆ 令和7年度 校舎平面図(各学級配当計画平面図)



令和7年度 学校要覧



稲田学園校歌「Home」
作詞 岡本 真夜
作曲 NAOTO

「おはよう」今日も 元気にいこう
とびら開けたら 新しい光
稲雲をこえ 歩くあせ道 顔を上げれば みんないるから
校舎にひびく 笑い声が 夢をつわいで 明日をえがく
この道の向こう いつでも この空の向こう 未来は
みんなの笑顔でいっぱい みんなの愛がここにある
手をつなごう Ah どんな日も
負けないよ あきらめない 一人じゃないからね
忘れないで いつもそばに 帰れる場所がある
やさしく明るい みんなの稲田学園

二
「こめんね」今日も 赤直でいこう
「ありがとう」も 伝えられたらいいね
悩んだときは 甘える勇氣 泣きたいときも みんなあるから
ときには涙 ときに悔しさ かかえないでね 言葉にしよう
さみしくないよ いつでも 希望ヶ丘に集まろう
仲間の笑顔でいっぱい 仲間の愛につつまれて

教室の隅 さみしい顔 かけ書ってあげたい
見つけたら そとそばに あたたい場所がある
忘れないで いつもそばに あたたい場所がある
やさしく明るい みんなの学園

胸を張って 歩いていこう
きこえるよ さこつやれる 夢を持ち続けて
忘れないで いつもそばに 帰れる場所がある
やさしく明るい みんなの 稲田学園

福島県須賀川市立義務教育学校 稲田学園

〒962-0043 福島県須賀川市岩淵字岡谷地 1
TEL0248(62)2806・0248(62)2804 FAX0248(92)3376・0248(92)3412
https://sukagawa.fcs.ed.jp/稲田学園
e-mail inada-c@fcs.ed.jp

須賀川市立義務教育学校 稲田学園 令和7年度ランドデザイン

第7次福島県総合教育計画

- 子どもたち一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せである「Well-being」の実現
- 福島の良さを大切にしたい「福地ならでは」の教育の発展
- 学びの革新「個別最適化された学び」「協働的な学び」「汎用的な学び」

県中教育事務所学校教育指導の重点

- 「ゆめ」「願い」がかなう教育の推進

教育目標

9年間の系統的・継続的な学びを通して、豊かな知性や感性及び健やかな身体を育むとともに、志が高く持ち、未来を創造するために必要な人間性や社会性を身につけたくましい児童生徒を育成する。

やさしく かしこく たくましく
未来を拓く 稲田の子

須賀川市教育委員会学校教育指導の重点

- 確かな学力の育成
- 豊かな心と徳の育成
- 新たな学びの取組展開 →「授業と授業研究を第一優先にした学校づくり」

小中一貫教育「須賀川モデル」

めざす学校像

- 子ども達の「笑顔」と「本気」、教職員の「やりがい」と「思い」が満ちあふれる、保護者から信頼され、地域からも愛される学校
- 子どもが楽しく生活・学習でき、子どもの人格が尊重される学校
- 教職員が協働して教育活動を創造していく学校
- 保護者や地域と協働する地域に関わった学校

めざす児童生徒像

- 自己マネジメント力や豊かなコミュニケーション能力を身に付け、社会の担い手として、自他の多様なウェルビーイングの向上を目指す児童生徒
- 思いやりがあり、きまりを守る子ども
- 夢や目標を持って、自ら学び続ける子ども
- 心と体がたくましく、最後までがんばる子ども
- ふるさとを愛し、社会や未来を拓く子ども

めざす教職員像

- 義務教育学校9年間の子どもへの育ちに責任をもち、子ども一人一人の健やかな成長を追求する教職員
- 授業を大切に、絶えず授業改善に取り組む教職員
- 子どもを大切に、「よさ」を引き出す教職員
- 同僚を大切に、互いに高め合う教職員
- 保護者・地域から信頼される教職員

○ 在籍児童生徒数・実家庭数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	わかくさ	9年	合計
男子	13	14	19	9	11	14	17	15	0	16	128
女子	13	11	6	14	21	11	15	14	2	15	122
合計	26	25	25	23	32	25	32	29	2	31	250
実家庭数	13	8	15	13	17	16	23	28	2	31	166

○ 教職員数・校務担当

	校長	副校長	教頭	教諭	講師	養護教諭	栄養士	事務職員	用務員	調理員	学校司書	支援員	相談員	SC	SSS	運動指導員	計
男	1	1	1	7	1				1			1					14
女				8	5	2	0	2		4	1	1	1	1	1		26

職名・校務	氏名	職名・校務	氏名	職名・校務	氏名	職名・校務	氏名
校長	田中 朗裕	5年担任	橋本 倫一	教諭(非常勤)	大山 博文	調理員	金了 T 紘
副校長	渡邊 善彦	6年担任	野崎 三恵子	前期養護教諭	三瓶 佳世	調理員	湊 ひかり
教頭	小河原 淳	7年主任	大野 千恵	後期養護教諭	稲垣 南	調理員	櫻村 恵美
前期課程教務主任	諏訪 信一	7年主任	会田万紀子	主事	佐々木愛結美	学校司書	小川 弘美
後期課程教務主任	大空 光	7年担任	尾形 雅信	主査	芳賀 祐子	支援員	吉川 好子
1年担任	味戸千賀子	7年副担任	佐藤 正英	非常勤講師	河村芽ぐみ	支援員	天野 信一
2年担任	齊藤 優美	8年主任・担任	大和田深幸	非常勤講師	高柴 香織	心の教室相談員	吉田 恵子
3年担任	面川 恵子	わかくさ班・8年副担任	佐久間百仁加	非常勤講師	菊田 詩音	スクールカウンセラー	高橋 路子
4年担任	古成 里美	9年主任・担任	佐久間貴裕	用務員	山賀 尚明	わかくさ班	赤塚 玲
4年副担任	三浦 侑香	9年副担任	長谷川雅彦	調理員	味戸 芳枝	部活動指導員	高橋 裕一

豊かな心

確かな学力

たくましい心と体

【指導の重点】

- 自分の命を尊重する心、他人を思いやる心の醸成
- 規範意識の醸成
- 積極的な生活指導の推進（交るを思いやる心）
- 望ましい人間関係の構築
- あいさつ、言葉遣いの指導の徹底
- 自己マネジメント力や表現力の育成
- 自己マネジメント力（自己指導能力）の育成

【具体的な取組】

- 相手の立場に立つて行動する子どもの育成
- 「いじめ」を許さない異班作り
- 道徳教育・道徳の授業の充実
- 「情報モラル教育」と「メディアコントロール」の推進
- 児童生徒会と委員会活動の充実と自治的能力の育成
- WEQOUの有効活用
- 「いじめないさつ」、言葉遣いの継続指導
- 正しい職業観、勤労観の育成（職場体験、職業講話、企業見学等）
- 自ら考え、判断する（自己決定）場の設定

【指導の重点】

- 「わかる」できる「授業」の実践と授業改善
- ペーパーレスでの学習や学習の実践
- 基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用
- 家庭学習と読書の習慣化と充実
- ICTを効果的に活用した授業実践
- 「須賀川・稲田」への郷土愛の育成
- 認知能力と非認知能力の相互関連と向上

【具体的な取組】

- 知識教育を核とした「主体的・対話的で深い学びの実践
- 思考力、判断力、表現力を育む学習活動の実践
- 前期課程で「ICT」端末を活用した授業実践
- 「稲田学園の学び」家庭学習の「手引き」の活用
- 「プロジェクト」端末を活用した授業実践
- 「わか」/「わか」の活用と読書活動の充実
- 外部講師等の積極的招聘
- 「いじめないさつ」(キャリア教育、ふるさと教育)の推進
- 防犯小講座の開催(「あそびの力」/「あそびの心」)
- 体験や子ども同士の関係、読書を通して学ぶ場の設定

【指導の重点】

- 基本的な生活習慣の確立
- 体力づくり活動の実践
- 自主的な健康管理の実践
- 安全教育、安全指導の徹底
- 自己マネジメント力（自己指導能力）の育成

【具体的な取組】

- 生活指導等の実施と「わか」に基づいた指導の充実
- 「マイアクトロール」
- 「食事・早起き・靴の履き」の推進
- 食育の推進（M・Y担当の日、朝食を現場より週間等）
- 運動、放課後の活動の促進
- 各種大会に向けての取組と積極的参加
- 運動の体験、早期導入
- 運動身体プログラム等を取り入れた体育の授業改善
- 地域学校保健委員会の開催
- 「いじめないさつ」(キャリア教育、ふるさと教育)の推進
- 防犯小講座の開催(「あそびの力」/「あそびの心」)
- 交通安全・学校事故の防止

学校事故防止

安全点検 危険発生時対応要領の見直し
防犯・放射線教育 関係機関連携 緊急対応

特別支援教育の充実

各委員会 個別の支援 指導計画
通級指導教室 関係機関との連携

開かれた学校づくり

情報発信(学園だより・HP等) 学校評議員会
地域・関係機関との協働 地産地消推進委員会

学校評価による改善

各種評価の収集・分析による改善
保護者アンケート、学校関係者評価の結果

教職員の資質向上

校内の研修の充実 多文化理解力の向上
人事研修 不祥事対応 心理的困難対応

『稲田学園』が目指す子どもの姿

やさしく かしこく たくましく 未来を拓く 稲田の子

教育目標	豊かな心	確かな学力	たくましい心と体
キーワード	豊かな心	確かな学力	たくましい心と体
めざす児童生徒像	思いやりがあり、きまりを守る子ども ふるさとを愛する子ども	夢や目標を持って、自ら学び続ける子ども 社会や未来を拓く子ども	心と体がたくましく、最後までがんばる子ども
JUMP ブロック 中3 ～ 中2	<ul style="list-style-type: none"> 社会の一員としての役割を自覚し、いじめのない良好な人間関係を築く。 相手や時と場に応じた心のこもったあいさつ、言葉遣いができる。 地域の特徴から課題意識を持ち、地域に関する学びを広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来の夢に向かって自分に合った学習方法や多様な他との協働を通して、主体的に学ぶ。 目標を持って計画的に家庭学習や読書に取り組む。 自己を見つめ、自己よさを生かすための夢の実現に向けて主体的に学習に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の目標の達成に向け、自分のよさを生かしながら、自律的に努力を続ける。 主体的に運動に取り組み、運動する楽しさや喜びを味わうことができる。 生涯の健康のために必要な知識を身に付け、主体的に健康的な生活を実践できる。
STEP ブロック 中1 ～ 小5	<ul style="list-style-type: none"> 社会のルールを守り、互いの良さを認め、いじめのない人間関係を築く。 自分から進んであいさつをし、時と場に応じた言葉遣いができる。 地域の人々と暮らすと関わり、地域に関する学びを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分に合った学習の仕方を見つけ、個別に、そして他との対話を通して学ぶ。 自主的に家庭学習や読書に取り組む。 自分のよさや興味・関心、適性から、将来への憧れや夢を持ち、その実現に向けて学習する学びを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標の達成に向けて、計画的かつ継続的に努力を続ける。 目標に向かって粘り強く運動ができる。 自分の心身の健康に関心を持ち、健康の維持のために必要な事柄を理解し、進んで健康的な生活を実践できる。
HOP ブロック 小4 ～ 小1	<ul style="list-style-type: none"> きまりや時間を守り、みんなと仲良く生活する。 明るく元気なあいさつをする。 自然体験、伝統文化体験、行事などの体験活動を通して地域のよさに気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な学習内容を身に付け、進んで学習に取り組む。 家庭学習や読書の習慣を身に付ける。 友達と積極的に関わりながら活動する中で、自己肯定感や自己有用感を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標に向かってがんばり、成功体験や達成感を積み重ねる。 安全に気をつけ、楽しく運動できる。 健康について関心を持ち、身の回りの清潔や基本的な生活習慣を身に付ける。

学習	生活	健康安全	特別活動	特別支援教育	行事
協同的な学びの実践 前期課程での一部教科担任	道徳の授業の充実 「いじめないさつ」運動 いじめの早期発見・対応 WEQOU(年2回) 情報モラル教育の推進 校内授業研究会・互見授業 読書活動の充実	校内保健安全委員会 学校保健委員会 食育の充実(朝食を毎日5週間・朝食摂取率の向上) 各種大会に向けての取組 6年生の部活動体験・早期入部	児童生徒会活動 委員会活動 修学旅行・学習旅行 宿泊学習・見学学習 職場見学・職場体験(講話) 幼稚園との交流・授業参加 学年行事・プロジェクト	個別的教育支援計画・個別の指導計画の作成と共有 特別支援・就学指導委員会 支援学級生徒との交流学習 通級指導教室との連携 専門機関との連携	校内文化祭「秋祭祭」 稲田地域文化行事やボランティア活動への参加 前期課程保証了証書授与式 1年生を迎える会 「わか」・「わか」のイベント 「松明あかし」への参加

◆ 稲田学園教育システム



- HOPブロック・STEPブロックの教科担任制
- 1年 算数
- 2年 音楽 体育
- 3年 体育
- 4年 体育
- 5年 理科 音楽
- 6年 理科 音楽
- 小中教員の乗り入れ
- 算数 4・5・6年
- 理科 5・6年
- 体育 1・2・3・4・6年
- 音楽 2・5・6年

◆ 日課表

学 年	1～6年(前期課程)	7～9年(後期課程)
登校完了	8:10	
朝の活動	8:10～8:35	
1校時	8:35～9:20	8:35～9:25
2校時	9:30～10:15	9:35～10:25
ふれあいタイム	10:15～10:30	
3校時	10:35～11:20	10:35～11:25
4校時	11:30～12:15	11:35～12:25
給食	12:15～12:55	12:25～13:00
昼休み	13:00～13:25	
清掃	13:30～13:45(月・火・木)	
5校時	13:55～14:40 (水・金 13:30～14:15)	13:55～14:45 (水・金 13:30～14:20)
6校時	14:55～15:40 (水・金 14:30～15:15)	14:55～15:45 (水・金 14:30～15:20)
帰りの会	14:40～14:55 (水・金 14:15～14:30)	15:50～16:00 (水・金 15:25～15:35)

はチャイム時刻

